

9月は世界アルツハイマー月間 認知症の人も 人情が熱いまち、江東

認知症は誰しもがなり得る身近な病気です。認知症の方が尊厳と希望をもって認知症とともに生きる、認知症であつてもなくとも同じ社会で自分らしく生きていくことができる社会を目指しましょう。

認知症に関する情報のパネル展示

区立各図書館および区役所2階で認知症に関するパネル展示を行います。
※展示期間は実施場所によって異なりますのでお問い合わせください。

また、認知症も他の病気と同じように、早期発見と早期治療がとても大切です。気になる症状があれば、かかりつけ医または長寿サポートセンターへ受診や相談をしましょう。

70歳の方を対象に、「もの忘れ予防健診」を行っています。7月上旬に対象の方へセルフチェックリストと受診票を送付しました。気になる症状があれば、ぜひ受診してください。

区では、認知症に関するさまざまな事業(左表)を行っています。詳細は区ホームページをご覧ください。

| 事業名 | 内容 |
|-----------------------|--|
| 認知症ガイドブックの配布(認知症ケアパス) | 認知症に関する情報をまとめたガイドブックを、各長寿サポートセンター、区役所、出張所等で配布しています。 |
| 認知症サポーター養成講座 | 認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方やその家族を温かく見守る認知症サポーターを養成します(毎月開催)。 |
| 認知症カフェ | 認知症の方とその家族、支援者、地域住民の誰もが気軽に参加できる交流場所です。 |
| チームオレンジ | 認知症サポーターが認知症の方やその家族とチームをつくり継続的に支援するボランティア活動です。 |
| おれんじる〜む(認知症家族等交流会) | 認知症の方の介護経験があるご家族が集まり、お互いに不安や悩みを分かち合い息抜きをする交流会を開催しています。 |
| もの忘れ予防健診 | 70歳の区民を対象に実施します。対象者には、個別に受診票を発送します。 |
| 高齢者みまもりアイテム | ひとりでの外出に不安のある方に、見守り登録番号を記載した高齢者みまもりキーホルダーと靴反射シールを配布しています。 |
| GPS位置探索システム費用助成 | 認知症(若年性認知症を含む)により外出に不安がある方を対象に、GPSを利用した位置探索システムの新規契約に伴う手数料の全部または一部を助成します。 |
| ただいまプロジェクトアプリの推奨 | 認知症などで、外出に不安のある方による行方不明や事故を防ぐため、地域の皆様の協力を得て見守り、保護するシステムです。ご登録いただくと、行方不明になった際の情報が協力者のスマートフォンに届きます(10月リニューアル予定)。 |
| 認知症初期集中支援チーム | 医師と介護・医療職で構成されるチームが、自宅で生活している認知症が疑われる方等を訪問し、適切なサービスにつながるよう6か月を限度に支援しています。 |

生を歩んでいくためには、困った時にさりげなく寄り添ってくれる支えが必要です。

認知症を正しく理解し、地域でつながり支えあうまちづくりのために、今のうちから何ができるか、何が必要か、認知症の方の診察を専門に行う医師が講演します。

9月18日(月・祝) 午前10時〜午後0時10分
江東区文化センター3階レクホール(東陽4-11-3)
区内在住の方100人(申込順) 無料

平原佐斗司(東京ふれあい医療生活協同組合研修センター長、オレンジほっとクリニック東京地域連携型認知症疾患医療センター長・医師)
8月25日(金) 午前9時から区ホームページ、または電話で地域ケア推進課地域ケア係へ

認知症の症状は、原因となる病気に加えて、環境による影響が大きいといわれています。認知症を発症しても暮らしやすい環境をつくり、発症前の暮らし方を維持しながら自分らしい人生を歩んでいくためには、困った時にさりげなく寄り添ってくれる支えが必要です。

加齢により起こる心身の衰え(フレイル)は、認知症にも大きく影響を及ぼします。認知症の一手前であるMCI(軽度認知障害)の段階で予防に取り組み、認知機能が改善し、自立した生活を継続することができ、ステイホームの影響により、認知症の方が増えるという予想される今、認知症について正しく理解し、ご自身で予防を行いませんか。

10月3日(火) 午後2時〜4時

場 ティアラこうとう地下1階大会議室(住吉2-28-36)
区内在住の方100人(申込順) 200円(飲み物代)

柴田展人(順天堂東京江東高齢者医療センターメンタルクリニック教授・医師)、國枝洋太(順天堂東京江東高齢者医療センター理学療法士)ほか
8月25日(金) 午前9時から区ホームページ、または電話で地域ケア推進課地域ケア係へ

認知症の人や家族、認知症に関心のある方、どなたでも気軽に来店できる認知症カフェです。専門の相談員が認知症についての相談もお受けします。
9月9日(土) 午後2時〜4時

東京保健医療専門職大学1

全国的に、毎年春と秋に全国一斉の建築物防災週間が設けられています。建築物・工作物の所有者・管理者等は、それらを常に安全な状態で維持するよう努めなければならぬことが、建築基準法に定められています。

この機会に、所有・管理している建築物・工作物・付属する

この機会に、所有・管理している建築物・工作物・付属する

階ホワイエ(塩浜2-22-10) 20人(申込順) 200円(飲み物代)

「色カルタ」色にまつわる思い出を語り合おう、相談会、情報交換など
8月25日(金) から電話またはファクスに①イベント名②氏名③電話番号④参加人数を記入し、東京保健医療専門職大学へ
(6272)5671(月〜金 曜、午前9時〜午後5時)
FAX(6272)5672

全国的に認知症の人が自分らしく前向きに認知症とともに生きていく姿を見ることができ、講演会会場や認知症サポーター養成講座の待ち時間でも上映する予定です。

全国的に認知症の人が自分らしく前向きに認知症とともに生きていく姿を見ることができ、講演会会場や認知症サポーター養成講座の待ち時間でも上映する予定です。

全国的に認知症の人が自分らしく前向きに認知症とともに生きていく姿を見ることができ、講演会会場や認知症サポーター養成講座の待ち時間でも上映する予定です。

全国的に認知症の人が自分らしく前向きに認知症とともに生きていく姿を見ることができ、講演会会場や認知症サポーター養成講座の待ち時間でも上映する予定です。

北砂三・四・五丁目地区 不燃化特区支援制度

区では、「燃え広がりやすい・燃えないまち」を目指し、震災時に火災延焼等の危険性が高い北砂三・四・五丁目地区(北砂三丁目の一部、四丁目、五丁目の一部)を対象に不燃化特区支援制度を実施しています。
この機会に支援制度を活用して建替えしてみませんか。まずは、気軽に不燃化相談ステーションへご相談ください。

不燃化特区区内に老朽建築物をお持ちの方、老朽建築物が建っている土地をお持ちの方を対象に、除却や建替えに伴う法律・税金・資金計画などに関する相談について専門家が答えします。
※相談まで受付から2週間程度かかります。また、相談内容によって受付できない場合があります。

不燃化相談ステーション
場 不燃化相談ステーション(北砂4-24-3宗清水ビル2階)
時 随時受付
料 無料
申 不燃化相談ステーションに電話・窓口で

「住替えに対する助成」
除却を行う老朽建築物にお住まいの所有者(借地人のみ)、または賃借人の方が住み替える場合に、その費用の一部を助成
※助成対象建築物や助成対象者については、一定の要件を満たす必要があります。

「不燃化建替えに対する助成」
老朽建築物を除却後に、不燃化建替えを行う建築物に対して、設計費および監理費の一部を助成
※助成対象建築物や助成対象者については、一定の要件を満たす必要があります。

「不燃化建替えに対する助成」
老朽建築物を除却後に、不燃化建替えを行う建築物に対して、設計費および監理費の一部を助成
※助成対象建築物や助成対象者については、一定の要件を満たす必要があります。

